



松浦市内の企業紹介

Vol.13

問 地域経済活性化課 ☎内線 241

頑張ろうとする君へ。松浦から、エールを。



氏山工業は、鉄はもちろんステンレスやアルミ、チタンなどを使って、各種コンベア、各種タンク他、煙突、特殊配管等製品物の設計製作等を行っています。

高い圧力がかかる物や、消防法で定められてる危険物の貯蔵タンク溶接に必要な国家資格「普通ボイラー溶接士」を取得しているので、ボイラーの溶接や、燃料タンクや蒸気窯等の二種圧力容器の製作も可能です。

既製品の規格にない特殊な製品や、一点物の製作を得意としています。

小さいゆえに対応できる小回りの利いた仕事で評価をいただき、県内外から仕事を頂いています。

「陽気に気楽に景気良く」

氏山工業

創業年 平成18年10月

所在地 松浦市御厨町上登木免416番地1

従業員数 3人

従業員ヘインタビュー

かづまさ
氏山 千雅さん

叔父の会社で一年間自動車の整備や板金の基礎を学んだ後、父が起業したこの会社で当初から働いています。

一点物や特殊物が多いのでなかなか父に追いつけそうにありませんが、一部の製品についてはほとんどの作業を任されるようになりました。

経験を積み、早く父に追いつけるよう技術を習得して、皆さんの役に立てるよう日々精進していきます。



わたしたちの郷土

～文化財は地域の宝～

『水中遺跡ハンドブック』が発刊されました

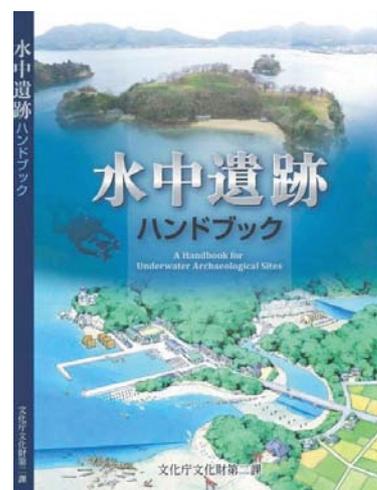
地域の歴史を証言する埋蔵文化財は、未来に伝えるべき重要な財産であり、適切に保存・活用することが重要です。しかしながら、国内では、特に、水中遺跡の保護に関する機運の高まりや体制整備等が十分に進んでいない状況にあります。

そのような中、文化庁において平成24年度から作成が進められていた水中遺跡の調査に関する指南書『水中遺跡ハンドブック』が、この度発刊されました。

カラー版で、写真も多く、実例を紹介したコラムや本市の鷹島海底遺跡に関する記載も多数掲載され、わかりやすい体裁となっており、この『水中遺跡ハンドブック』を通して、水中遺跡(水中文化遺産)の保護に関する理解が深まることが期待されています。

文化庁のホームページでPDF版が公開されています。研究者や文化財担当者でなくても、興味を引く内容となっていますので、ぜひ一読ください。

(文化庁：https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/pdf/93679701_01.pdf)



▲水中遺跡ハンドブック

問合せ先 文化財課文化財係 ☎内線 356